

三越伊勢丹の this is japan 戦略



百貨店業界の売上高は1991年の12兆円をピークから一時6兆円台へとしばらく低迷して、大規模な業界再編を進めておりましたが、昨今のインバウンド消費の効果による久々の盛り上がりを見せています。こうした状況の中で、三越伊勢丹グループでは、2015年年初から“this is japan.”という企業メッセージを掲げ、「世界随一の小売サービス業グループ」となるという企業理念を実現すべく、日本の五感をはたらかせた、ものづくり、品ぞろえ、も

てなしにフォーカスした意識改革、業務改革に取り組んでいます。

今回は、その取り組みの中で特に重要な位置づけとなるインバウンド政策、コンテンツマネジメント、新規事業等について、百貨店ビジネスの実情を交えながらお話しします。

日時	2月17日(水) 18:00~20:00
場所	日本印刷会館 2F 会議室 (中央区新富 1-16-8)
講師	(株)三越伊勢丹ホールディングス 経営戦略本部情報システム部システム企画推進担当マネージャー 宮下 道夫 氏
受講料	2,000円 (当日ご持参下さい)
定員	80名 (定員に達し次第締め切りとさせていただきます)
申し込み	FAXにて 03-3553-2653 迄 (FAXにてお申込み後、受付印欄に押印し返信します。この申込書が受講票となりますので、当日ご持参下さい。)

申込書		
氏名	氏名	
会社名	工組名	※受付印欄
TEL	FAX	
お申し込み頂いた個人情報は本セミナーの受付・運営に利用いたします		